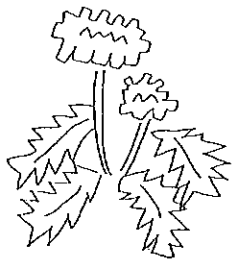




NO 1 2 2
 H 9 年 8 月 1 日
 - 発 行 -
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



退職

理事長 田中 稔

私共の法人では、毎年3月新入職員の研修もかねて、研修会をやります。その時に、職員の心構えとして次の三つの事を話します。

一ツ目は、時間を守ること。時間にはルーズな人間でいい仕事をしている人に今まで会ったことがありません。

二ツ目は、勉強をすること。障害のある人と関わるからこそ、その人が勉強し、工夫しなくては毎日がマンネリ化してしまいます。

三ツ目は、辞めるときにきちんとした辞め方をする事。いい仕事をしても、辞めるときは辞め方がいい加減であったり、不評を買ってしまうような辞め方をするとそれまでの仕事も、帳消しになってしまいます。

この三つの約束事は、なにも福祉の仕事だからと言う訳ではなく、

民間の事業所、銀行でもパートでも、常識的に求められることでもあります。

どんな事業所であれ、そこに務める人の常識的な約束事を成文化し、まとめたものが就業規則です。従って、就業規則には次のようなことが書かれています。

園生、障害児者に対する暴行や暴言です。強い口調で言わなければ伝わらないということはありません。それでも注意しておかなくては、ついぞんざいな口調になって日常化していることがあります。

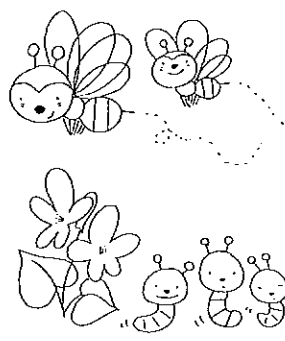
頭ポウポウ、髭は伸び放題、ヨレヨレの服につっかけ姿で出勤というようなことは、園生に対し失礼です。酒の匂いをさせ出勤し、結果として自分の体を壊して休んで、皆に迷惑をかけてしまう、といったことにはたいして、自分の健康管理には自分で責任があります。履歴書の記載事項の変更は、すみ

やかな届け出事項です。こういったことが、就業規則に書かれています。こういうことに違反すれば処分することがあります。職場

の規律と秩序の為に、その為の一时的な混乱が生じてても、やらざるをえません。しかし、なるべくこういった事による退職は避けたいものです。

80名の障害者が、この施設の中で生活し、生きていかななくてはならない、その事実の重さに比べれば、人の移動も止む無しと、肅々と受けとめて、やっていくだけのことで

です。

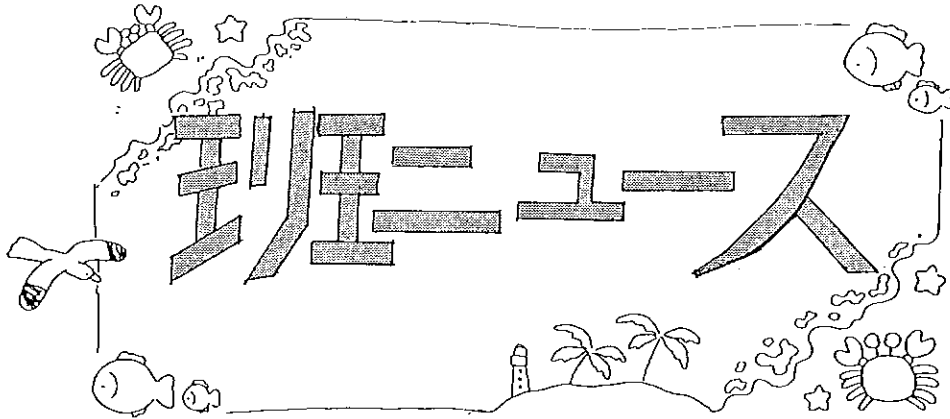


▽10年遅れてやってきたキウイ。先日、キウイの棚に小粒のキウイが数個成っていると知らせが飛び込んだ。まったく不意の知らせに三気の里の奇跡と色めきたった。

▽このキウイ雌雄数株が三気の里の敷地に移植されてから、10年近く経つ。台風にさらされ、作業棟の増設、その度に住処を移された。移植に伴い株数が減り、3株程が鶏小屋と園芸班の作業棟に挟まれた所に落ち着いて、5年にも成るがここまで実をつけなかった。昨年園芸班で、新たに雌雄2対のキウイが定植された。実をつけなかった古いキウイは御役御免といったところだった。そのキウイが結実し、存在を示してくれた。まさに奇跡である。

▽しかし、種明かしをするとい昨年購入した新しい雌雄のキウイから飛んだ花粉の仕業だった様だが、植物に長けている人ならば想像に難くないとの事でした。

▽それでも私は、10年の奇跡と信じたい。こんきの里であるから。



1班 - 夏は熱く！

「あつ〜い」と叫びまくりたくなる毎日、夏本番といった今日このごろ…。パッキンを持つ手に額にじわ〜と汗がにじみます。数千個、数万個の製品をチェックするのも一苦勞、暑さと自分の精神力との闘いです。こんな生活、まだまだ若い園生や職員の体に良いのかな、とお思いの方もいらっしゃるでしょう。当然わたしたちもそう思い、この度もっと外に出て汗を流して働こうということに決定致しました！

これまで外に出ていた鶏チームはもちろんですが、製品が少ないときにはみんなで外に出ます。鶏が怖いまー君も外作業が嫌な麻衣ちゃんも、みんなが一緒ならへっちゃらです。農耕班から移籍した賀文くんは、皆よりやっぱり一枚上手。何でもこなすまっちゃんも、花粉が苦手な建ちゃんも、作業着を着たくない健二君も、体力が心配なゆかりさんも、外作業カムバックのかっちゃんも、つなぎの似合うしーちゃんも、みんなで協力して草を取るとあんなに草ぼうぼうだった畑があっという間にきれいになりました。畑の係も高田指導員にバトンタッチ、「農耕班とは違った作物を作るんだ」と大張り切りで、みんなをぐいぐいと引っ張ってくれそうです。この夏、1班は若返り？と体力アップを目指します。

平川

2班 - 大雨バンザイ？

7月9日〜11日の2泊3日の宿泊レク。みんなワクワク！のはずが…大雨。天草方面の道は通行止め…泣く泣く中止となりました。みんなどう思うかな？残念がるだろうな？と思いつつ出勤。職員の心配をよそに、トレーニングルームで食べるお弁当に嬉しそうな笑みを浮かべる文ちゃん・淳ちゃん。外は大雨だけど、部屋の中はのんびりムード。みんながこんなに静かにのんびり過ごすことができていることに、ただただ驚くばかりでした。今回の中止はつらかったですが、大きな収穫を得ることのできたよい機会となりました。

さて、11日ようやく雨も少し上がり、みんなでカラオケ・プールにレッツゴー！長い雨の日々のうっぶんを晴らさんとばかりに歌え・踊れ・泳げの遊び三昧。少し冷たいプールの中では、ボードに揺られて眠り込んでいる龍也くん。プールの脇ではのんびり座ってみんなを見守る忠ちゃん・宣陽さん。深いプールでも職員と一緒に入ることのできた博美ちゃん・明日香ちゃん・民さん。浮輪に乗ってのんびり遊んだ、さゆりちゃん・泰彰くん・聡くん・山布子ちゃん。最後まで水の中に入ろうとしなかった博くん。みんなそれぞれ雨の日の休日を楽しんだようです。

今回宿泊レクが中止になっちゃったけど、秋にみんなで行こうね！今度は幸恵ちゃんも一緒に行けるから全員だよ。今回の大雨はみんな揃って宿泊レクに行けるように神様が降らせてくれたんだね。よかったね！

有働

3班 - 思えば遠くへ来たもんだ

去る7月15日(火)私たち3班(木工班)のメンバーは天草郡五和町にある湧水の里に行きました。なぜ湧水の里かというと、今年の春ここ三気の里を卒業し天草へ行った赤池ミドリさんに会うためです。

15日の当日、早くミドリさんに会いたいという気持ちと天草までの長〜ドライブを楽しみながらのレクリエーション。その日はこれまで雨続きだった天気とは裏腹に空を見上げるとそこには大きな入道雲が顔を出し、また海を見るとサンサンと照りつける太陽が海の水をキラキラと輝かせ、砂浜で海水浴を楽しむ人達に笑顔で答えているようでした。そのような光景を横目に私たちは、3時間の道のりを一つの目標に向かって進みました。途中、台風の影響で通行止めになっていたり、また道が分からず何度か車を止め地図を調べたりもしましたが、無事湧水の里にたどり着くことができました。車を降り玄関へ入ると、利用者の方が笑顔で出迎えてくれました。その中に一際眩しい笑顔で迎えてくれたミドリさん、何も変わらない姿に私たち思わず「ミドシャーン！」と叫んでしまいました。その後は園内を案内してもらい最後にミドリさんとの写真撮影、ほんの1時間程度の短い間でしたが久しぶりに聞くミドリさんの声をみんなで満喫し大満足の日でした。 山口

4班 - 宿泊レクリエーション

夏本番ですね。ジリジリと照りつける太陽が恨めしい今日このごろですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、農耕班では7月16日(水)より2泊3日で、大分県にあるマリンカルチャーセンターへ宿泊レクリエーションへ出掛けました。(センター内には多数の施設が設けてあります。)1日目、遊覧船にてサング礁を觀賞しました。船に少々怖がっていた魚谷君、功一くん、船に揺られながらはしゃいでいた新一くん、光紀くん、桜木くん、井口さん、また若干名の職員が船酔いでダウンするといったハプニングもありました。2日目、海洋博物館、プラネタリウム館を觀賞、プラネタリウムを不思議そうに眺めていた憲吾くん、中原くん、上野さん、あいにくの雨ではありましたが、プールで大はしゃぎだった守屋くん、森くん、隆博くん、松枝くん、夕食時のビールで大満足だった福嵩さんと皆それぞれに楽しんでくれました。事故もなく無事に宿泊レクを終えることができ、沢山の思い出をつくることができました。まだまだ皆さんにおつたえたいことは山の様にありますが、この辺で終えることにします。さっそく来年の宿泊レクの希望が出ています。(職員の間で…) 来年は、海外に挑戦してみようかな? 満原

5班 - 思い出がし、っばい

蟬の声がいちだんと耳に入ってくる今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか?

さて、私たち5班は去る7月2・3・4日の2泊3日で福岡県の志賀島へと海水浴に出掛けました。あいにく出発日は雨、明日は晴れるだろうかと心配していた久美加ちゃん・山美ちゃんその思いが届いたのか2日目の朝、昨日の雨はどこへ行ったのか当日は汗をかくぐらいの快晴でした。

いよいよ海水浴場へ、広い海を前に園生皆は、横一列に広がりラジオ体操。(なんだか絵になってたな〜) また、体操が終わると全員で海の中へ、一番のりをしたのが奈成君続いて武ちゃん・亮君・典君皆とても輝いていました。(海が後ろだったからかな。)

陽ちゃん・博君・中嶋君・松島さん・敬ちゃん・一精君はと言うと、砂浜で押し寄せてくる波と、遊んでいました。皆、口頃見せない生き生きとした顔を見せてくれて、とても楽しそうでした。又、皆の顔や体もいい具合に日焼けをして、何だかたのもしくなったのは気のせいかな?

2泊3日の旅でしたがそれぞれいい思い出ができたのではないのでしょうか? 又、今回参加できなかった富田さん、来年は絶対一緒に行こうね。 緒方

療育雑記

コーヒータイム

指導員・坂井 省英

Mちゃん、体を前後にゆすり、腕、肩、顔とリズムカルに叩きつづける。まるで軽快なリズムに合わせるように、飽きる事無く何処かを軽く叩き続ける。

Mちゃんが三気の里に入所してきたのは、今年4月の事。以前から夏の実践キャンプや学校の実習で顔馴染みだったので、良く知っているはずなのだが、あらためて見るMちゃんは、一見すると小学生のようで、筋肉質で肩が張り、表情も硬く、頑固な子である。そんな彼女が言葉の理解は良く、食事や洗濯物のたたみ方等の様は十分習得している。

Mちゃんの飽きる事無く続ける常と同じ動きを繰り返す行動(常同行動)は、「体を大きくゆすり、軽く体全体を打楽器のごとく叩く場合」と「顔周辺を激しく叩く場合」がある。

前者の場合は、幼少期に自らの体を遊びの道具として、リズムを捉えるような遊びとして覚えてきたものであるようだ。

後者の場合は自己・欲求表現の一つのカタチであり、怒りや拒否、苛立ちそんな気持ちを表す言葉の代わりのものである。

前者の場合の常同行動については、以前S君の同様な常同行動を阻止しようとブロックを試みたが、はかばかしくなかった。それで常同行動そのものに対しては、とらわれないように工夫をし、廊下掃除や作業といった課題を通して、意識を他に向ける事で置き換えといった手法を試みた。現在、常同行動そのものはあるものの穏やかな生活を獲得するまでにいたっている。

Mちゃんの常同行動に対しても廊下掃除や作業課題を通しての置き換えて向き合うつもりである。とはいえ、のんびり根気良く付き合う事が肝要のようだ。

さて、後者の場合のように自己欲求の表現としての叩く行為については、担当職員が仲良くなる為の重要なポイントであり、コミュニケーションを広げる要素である。今後どのように展開していくかは、後述段として何時か経過を聞かせてもらおうと思う。

日課が現在のようないろんな形態に成って久しいが、当初は作業よりも休憩の時間をどのように過ごすかという事が大きな問題だった。作業は、職員が必死に号令をかけて叱咤激励し曲がりなりにもカタチになったが、体力気力ともに疲労困ぱいの状態では休憩の時間まで気が回らず、各々が勝手気ままに動きまわっていたというのが実状であった。

最近では、作業の休憩時間を利用してコーヒータイムを摂れるまじになった。休憩時間は、みな静かにくつろぎ、コーヒーを味わっている。本当に夢のようである。



食卓事△△

先日、7月22日(火)に10周年を記念して、保護者会主催の食卓会が行われました。別府の湯に浸かり、城下ガレイに舌鼓を打ち、別府の味を満喫することができました。保護者の皆様、ありがとうございました。

食卓事△△

7月22日は保護者主催の食卓会でした。園生は何日も前から厨房に来ては、「22日、大分。」と楽しみにしていたので、バスの長旅に少々疲れても、水族館、食事となるにつれ、すっかりパワー全開。その後、入浴や、カラオケでくつろぐのもあったという間。帰るとき皆の表情は、どこか悲しげでした。

厨房スタッフ全員で、このようなイベント参加は初めてなので、とっても楽しく、貴重な一日でした。 前田

栄養の話

カボチャの果肉の濃い黄色は、カロチンがたくさん含まれているためです。カロチンは腸内でビタミンAに転換し、目の疲れや角膜乾燥症などの病氣、風邪や肺炎など呼吸器系の感染症などの予防に役立ちます。また、カボチャの種類にはリノール酸が多いので動脈硬化予防に適しています。フライパンで煎って食べて下さい。日本ではあまり馴染みがありませんが、中国料理や台湾料理では、前菜でよく食べるんですよ。 上村

七夕祭り

山口 裕之

皆さんは七夕のお話しをご存じでしょうか。昔、天の川の東の宮殿に織女という娘がいて父の言い付けで明けても暮れても機を織っていました。それを見た父親はさすがにかわいそうになり、天の川の西に住む牽牛という若者に嫁入りさせたのですが、結婚の楽しさに夢中になり機織りをやめてしまったそうです。それに腹を立てた父親は、無理やりもとの宮殿へ連れ戻しそして、一年に一回7月7日の夜だけ天の川を渡って牽牛に会いに行くこと許したというお話ですが、これは今から1200年ほど前に中国から日本に伝説と行事とが伝わって来たそうです。当時は織女と牽牛とを祭ってこの夫婦の星がうまく会えるようにと祈り、あわせて婦人の手芸（機織り、琴、習字など）が上手に出来るようにと祈った行事です。

三気の里でも今年七夕飾りを行い、ありとあらゆる願い事が笹の葉に掛けてありました。この中でより多くの願いがかなうとよいです。

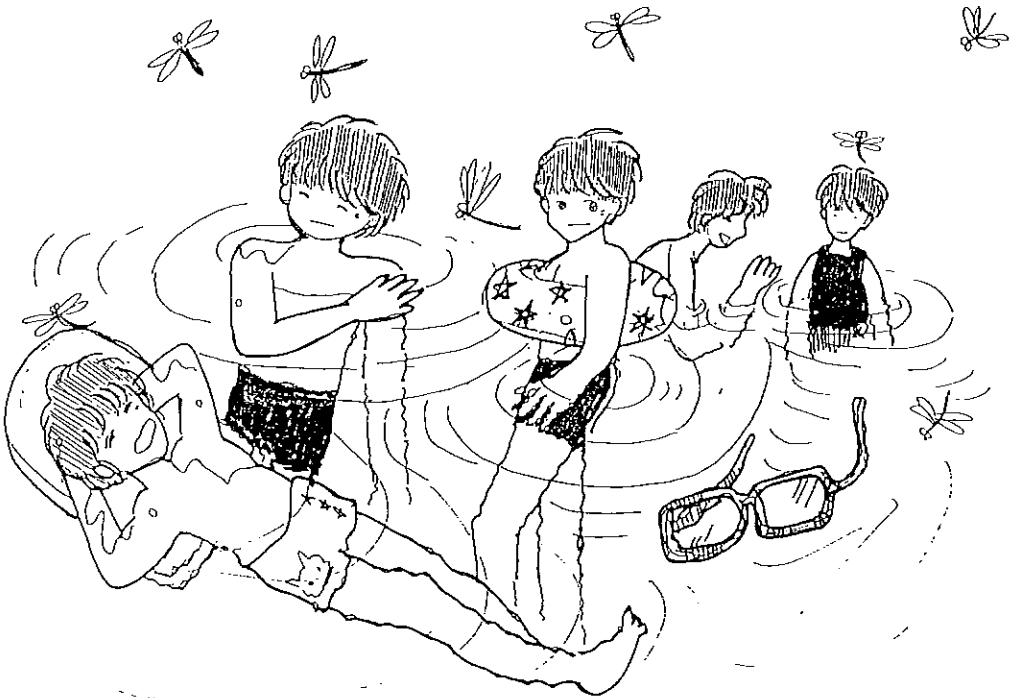
退職にあたって：

木下 麻紀

この度、都合により7月31日をもって、退職することになりました。短大を卒業したばかりで、自閉症の人達のこと、事務のこと何も分からない私でしたが、開所当初からのスタッフの一人として、10年間勤務させていただきました。毎日の積み重ねが福祉の道を理解し、知識として蓄えられていきました。そして、保護者の皆様や園生みんな、職員一人一人に支えられて、今の私がいるのだと思います。その出会いと10年間の歴史は、私の大切な宝物です。

思いおこすと楽しい思い出がたくさんありますが、その中には、今はもう亡き方がたや、辞められた方なども浮かんできます。誰ひとり欠けても、今の三気の里はないでしょう。その一人一人がまいた種の小さな芽が、一つ一つ成長し、花を咲かせていると思います。どうかその美しい花がいつまでも咲き続けていきますように、心の中でいつも願っています。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。



8月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

※ 今月は保護者会・帰宅バスはありません。



ボランティア通信

盛夏の候、空には入道雲がもくもくと活動しています。三気の里も10回目の夏を迎えました。今月もボランティアに来てくださった方ありがとうございました。学校も夏休みに入り学生さん方も割と時間的にゆとりが増えてきたのではないのでしょうか？残念ながら8月は大きな行事はありませんが、ボランティアに興味がある方、三気の里の事をもっと詳しく知りた方その他ボランティア希望の方は誰でもOKです。

担当の石丸、國岡まで気軽に御連絡下さい。御待ちしています。へボランティアありがとうございます。☆散髪 松尾 博美・清田 純一 坂本シマコ・泉 美智代 源造 順

- ☆生け花 西村 隆子
- ☆ブラッシング指導 森 隆子
- ※敬称略
- バレエ見学 坂本 信子



「しーちゃんバレエ見学に行くよ。」
しーちゃんは、外出は嫌だった

が、今日は日曜日で、しかも、担当が出勤して来ていたので、何かはあるかと、予感していたらしい。「うん。」と、しかたなしに返事をして担当について来た。

途中、車の中で「何処の体育館？」と二度ほど聞いて来たが、体育館の舞台で、以前にバレエの発表を見たことがあるのかな？ぐらいにしか思わなかった。

ひどい交通渋滞の中、やっと産業文化会館の席につきほっと一息ついた。しーちゃんはキョロキョロと辺りを見回しながら「バレエなの？」と聞いてきた。「うん、そう。」と答えると、次の瞬間「ボール何処？」と聞く。

何と、彼女はボールを使ってプレイする「バレエボール」と間違えてしまっていたのだった。

たまらず、大声を出して笑い出すと、近所に座っていた人々が皆いっせいに振り返った。しーちゃんも負けじと笑った。

梅雨の合間の日差しのきつい中、ほんの一時、楽しいバレエ見学となった。

編集後記
暑中見舞い申し上げます。